



デーリー東北新聞社

〒031-8601
八戸市城下一丁目3-12
電話0178(44)5111
振替口座02360-6-4212
©デーリー東北新聞社2008



六ヶ所 平安時代に良馬輩出 歴史ロマンに触れる

「尾駁の牧」研究会初の報告会

六ヶ所村の馬産地としてのルーツを探る村「尾駁の牧」歴史研究会(相内知昭会長)は3月25日、村文化交流プラザ「スワニー」で初の活動報告会を開き、参加した約50人が村に秘められた歴史ロマンに触れた。

相内会長が講演し、村内の遺跡で見えられた平安時代の住居構造や製塩の形跡から、村をはじめとする小川原湖周辺で馬の成育が盛んだったと強調。当時の撰関家が重視した良馬を輩出した可能性を

指摘した。

同会顧問を務める青森県文化財保護協会の栗村知弘副会長も講演し、会場に県埋蔵文化財調査センターの所蔵品なども展示した。

昨年5月に発足した研究会は、これまで6

回の勉強会を開催。馬を通じたまちおこしの一環で、馬肉を使った商品開発なども行っている。

(藤野武)

告知板

六ヶ所 24日から「尾駁の牧」資料展 村文化交流プラザ「スワニー」で、27日まで開く。平安時代、名馬の産地が現在の六ヶ所村にあったとされる説の研究を進める「尾駁の牧」歴史研究会が主催。これまでの研究

成果をまとめた資料の展示や、活動の様相を収めたDVD上映などを行う。入場無料で、25日午前10時から同会のメンバーによる活動報告会も行われる。26日はスワニー休館日のため、入場できない。問い合わせは同会の相内知昭会長(携帯電話090・3752・0935)へ。



〒030-0180
青森市第二問屋町3丁目1番89号
東奥日報社
電話 017-739-1111
©東奥日報社 2008